



高輪だより

令和7年度9月号
港区立高輪幼稚園
園長 佐々木勝世

わくわく ぽかぽか
みんなえがおの
たかなわようちえん



夏季休業期間中の出来事

園長 佐々木 勝世

皆様、夏季休業中はいかがお過ごしでしたか。

親子で一緒に遊んだり、お出掛けをしたり、夏ならではの体験活動を楽しんだりなど、様々に過ごされたことと思います。子どもたちから「夏の思い出」を聞くのが今から楽しみです。

教員も夏季休業中に様々なことに取り組みました。園内の環境整備をしたり、1学期の指導の記録をまとめて2学期の指導計画を立案したり、教育委員会等が実施する様々な研修会に参加したり、教育関連の書籍を読み込んだり…。まとまった時間が取れるこの時期に、各自が主体的に今の自分に必要なこと、やってみたいと思うことに取り組みました。もちろん休暇を取って、リフレッシュもしました。

幼稚園は、この休業期間中に大規模な改修工事を行いました。改修内容は、園舎全体の空調機器・配管等の更新、1階トイレの便器・壁面・床面の更新、保育室内の水道シンクの取換、照明器具の更新、保育室床面の研磨、屋外に埋設された排水管の更新、自動火災報知システムの更新など、実に多岐にわたりました。港区や港区教育委員会の事務担当者との連携の下、設計、建築、電気等、様々な専門業者が1か月間、ほぼ毎日のように来園し、エアコンが停止した蒸し暑い園舎内で一生懸命作業を進めてくださいました。おかげさまで2学期以降、子どもたちがより安心・安全に、快適に過ごせる環境が整いました。

幼稚園の教育は、子ども、保護者、教職員だけで成り立つものではありません。普段、園にはいない様々な人々の支えによって成り立っています。2学期以降、開園50周年の取組に絡めて、子どもたちに自分たちの楽しい園生活が多くの方々の「仕事」や「厚意」によって支えられていることを伝えて、感謝の気持ちとともに成長し大人になることへの喜びやあこがれの気持ちももてるようにしたいと考えています。



工事開始前に、教職員で室内の可動物品を全て廊下に出しました。



工事の様子。園庭には、業者の車が多数駐車していました。



屋上のトウモロコシ（ポップコーン）が大きく育ちました。

高輪幼稚園では、子どもたちの生活の様子や、その中にある「学び」について、積極的に発信しています！

【ホームページ】 <https://takanawa-kg.minato-kyo.ed.jp>

【X（エックス）】 <https://x.com/takanawakg>



ホームページ



X エックス